



科学技術・学術分野の 男女共同参画の現状と内閣府における取組

内閣府男女共同参画局
令和8年2月21日（土）



科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状①

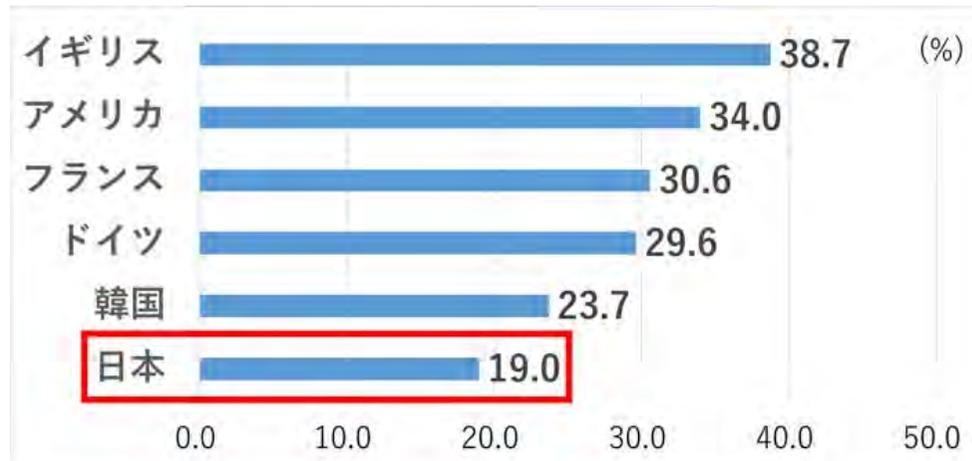
女性ノーベル賞受賞者数（自然科学分野）

	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	7	2	3	12
欧州	5	2	4	11
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	14	5	8	27

※2025年までの受賞者を集計。

※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

諸外国の研究者に占める女性割合

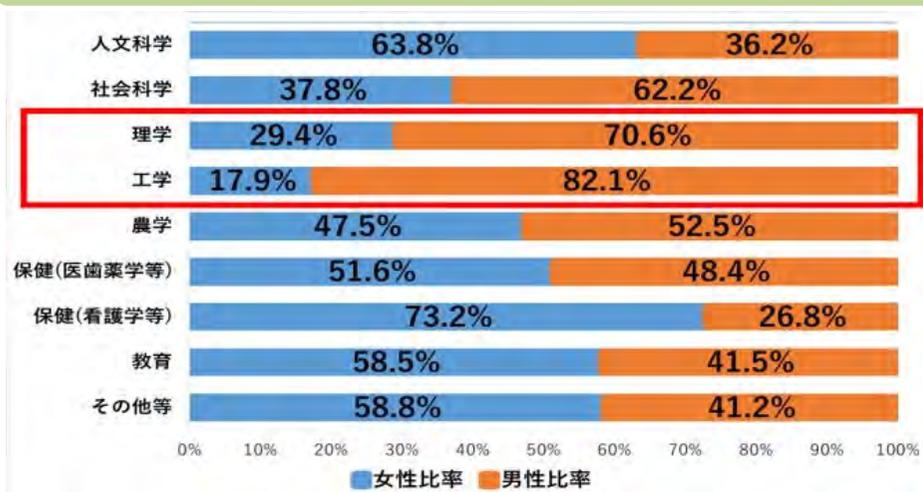


(出典) 総務省「科学技術研究調査」(令和7年)

OECD “Main Science and Technology Indicators”

米国立科学財団 (National Science Foundation : NSF) “Science and Engineering Indicators”

大学（学部）の学生に占める女性の割合



(出典) 文部科学省「令和7年度学校基本調査」

※その他等は「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。

OECDによる学習到達度調査(15歳時点)

	日本			OECD平均		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
科学的リテラシー平均得点	547点 1位	548点 1位	546点 1位	485点	485点	485点
数学的リテラシー平均得点	536点 1位	540点 1位	531点 1位	472点	477点	468点
読解力平均得点	516点 1位	508点 1位	524点 4位	476点	464点	488点

※OECD PISA (Programme for International Student Assessment) 2022 より作成

※順位はOECD加盟38か国中。

※調査段階で15歳3か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象 (日本では高校1年生)

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状②

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合（2023年）

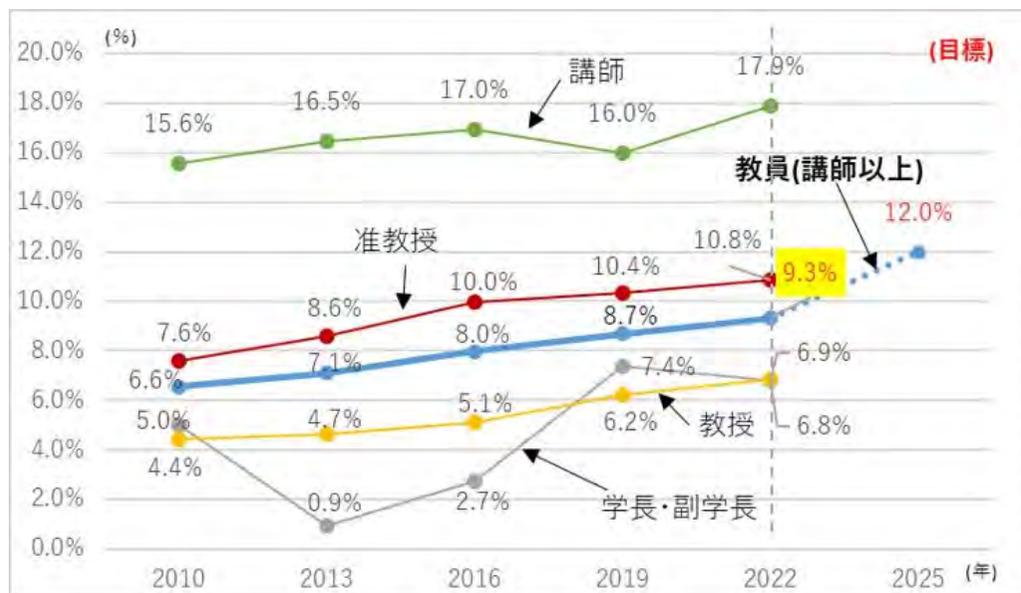


第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状①

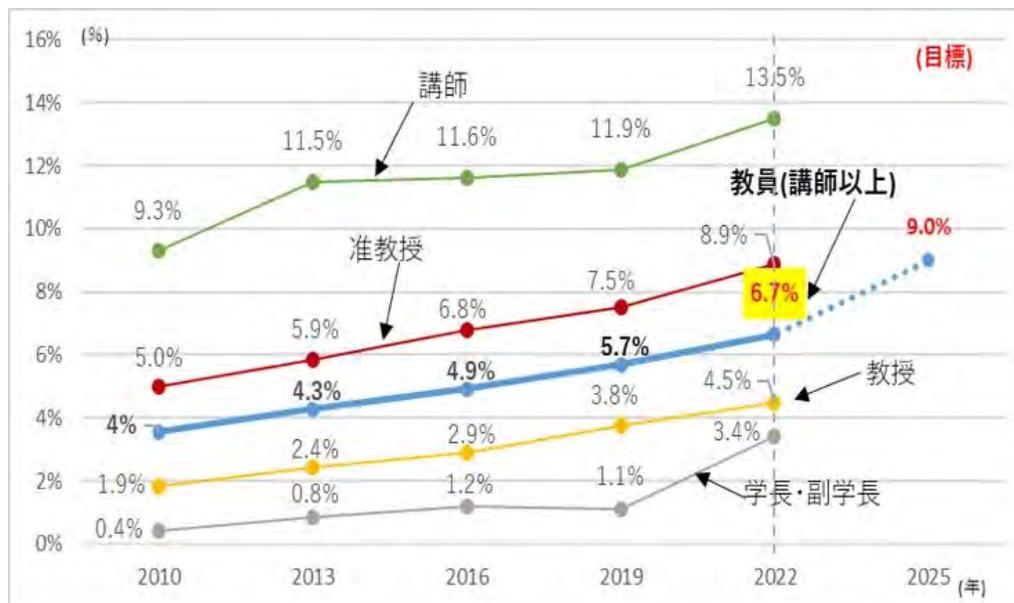
項目	成果目標(期限)
①大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合	理学系:12.0%、工学系:9.0%(2025年)
②大学の研究者の採用に占める女性の割合	理学系:20%、工学系:15%、 農学系:30%、医歯薬学系:30%、 人文科学系45%、社会科学系:30% (2025年)
③大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合	前年度以上(毎年度)

①大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合

【理学系】



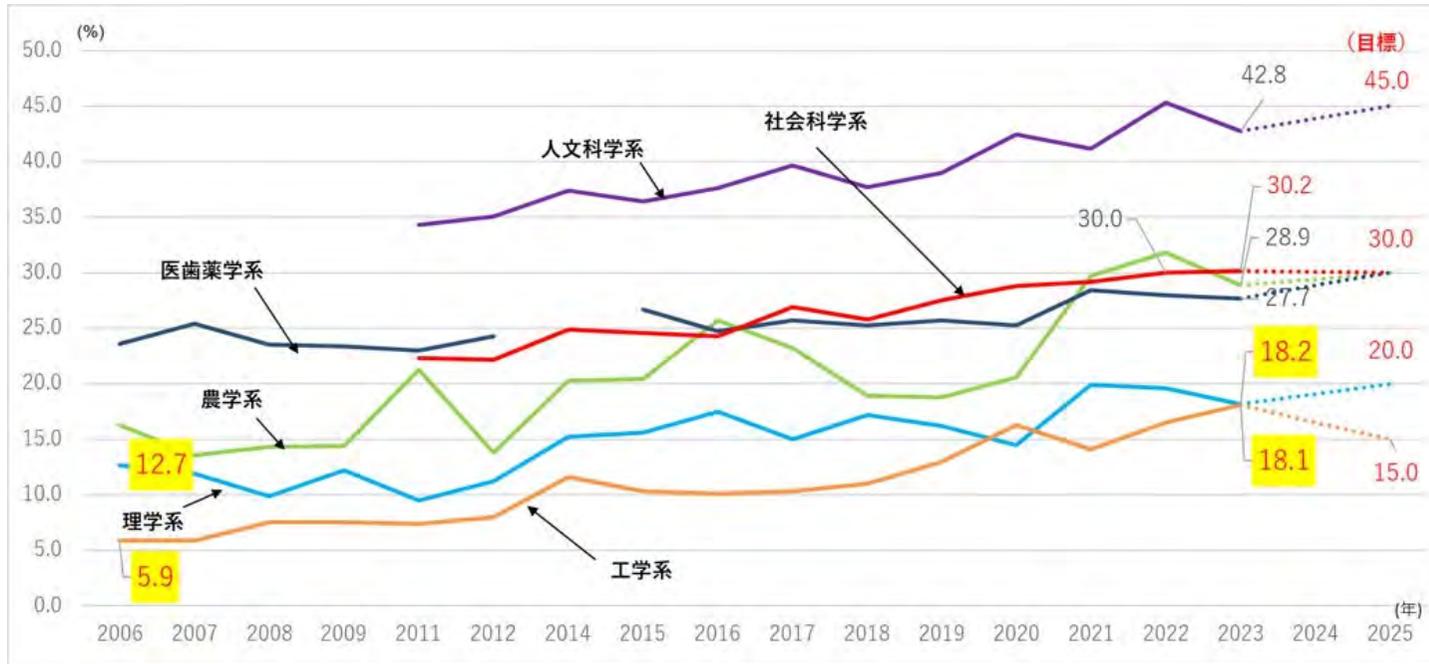
【工学系】



資料出典:文部科学省「学校教員統計調査」
 ※資料出典は、実績値の出典を示すもの。
 ※2025年1月7日現在、2022年度が最新値。

第5次男女共同参画基本計画の成果目標と現状②

②大学の研究者の採用に占める女性の割合

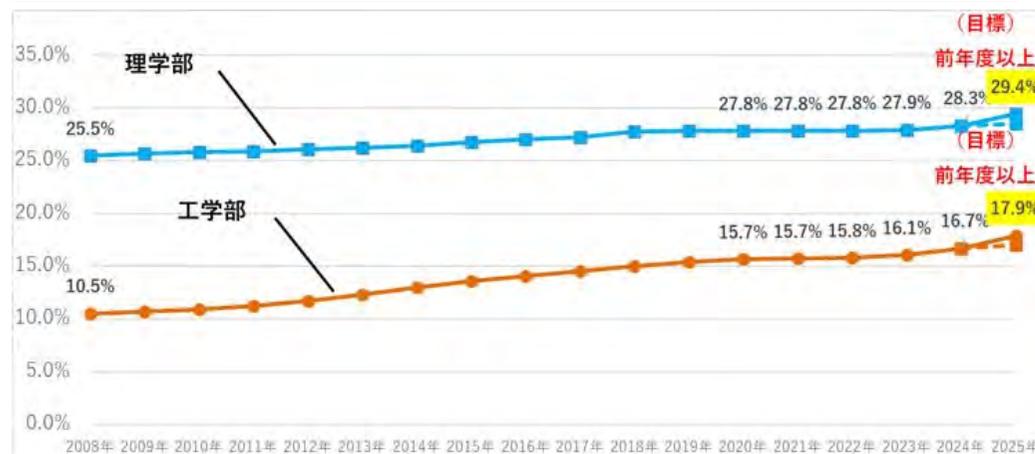


資料出典: 文部科学省調べ

※大学が採用した教員(非常勤教員を除く)のうち、教授、准教授、講師、助教について集計。

※2014年は、「保健系(医学・歯学・薬学系)」と「保健系(その他)」を区別せず、保健系全体の数値を集計している。

③大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合



2025年度女子学生数	
理学部	24,220人
工学部	70,590人

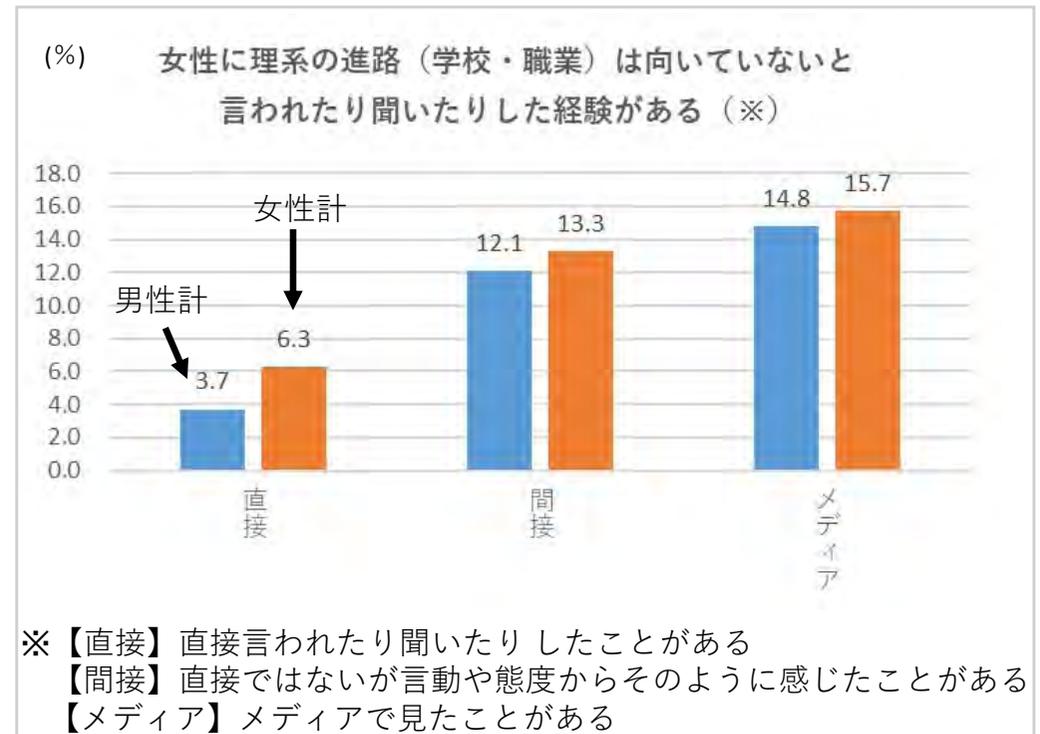
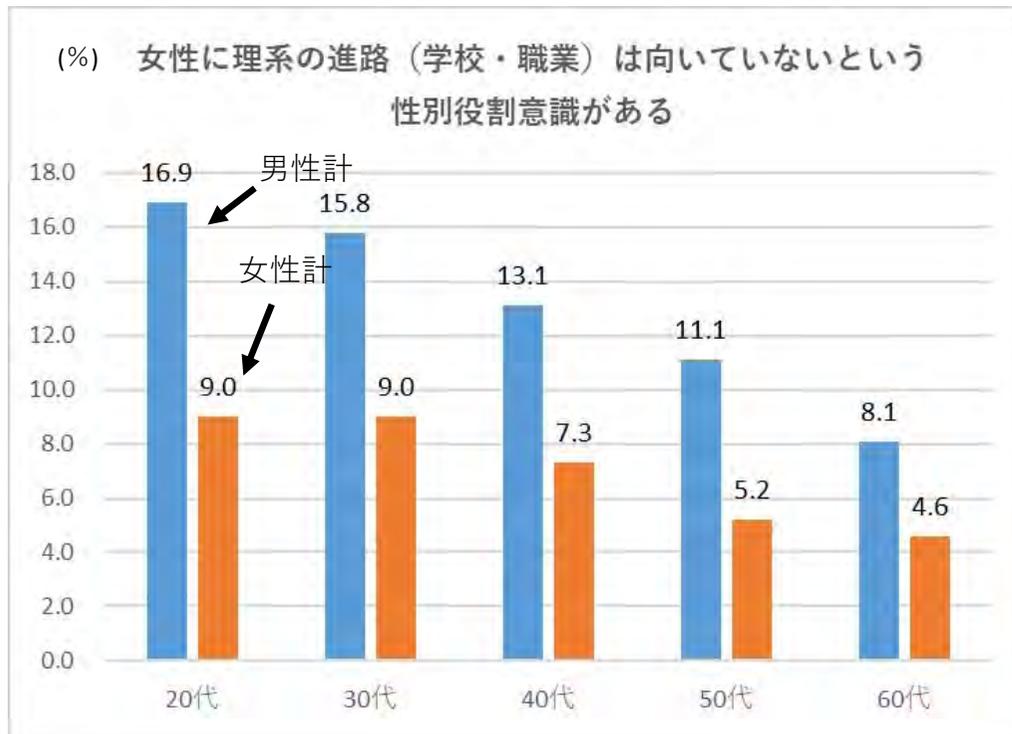
資料出典: 文部科学省「学校基本統計」(各年5月1日現在)

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」より～

【調査結果】

- ・「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- ・一方、そうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※出典：内閣府男女共同参画局

令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

「男女共同参画社会に関する世論調査」の概要

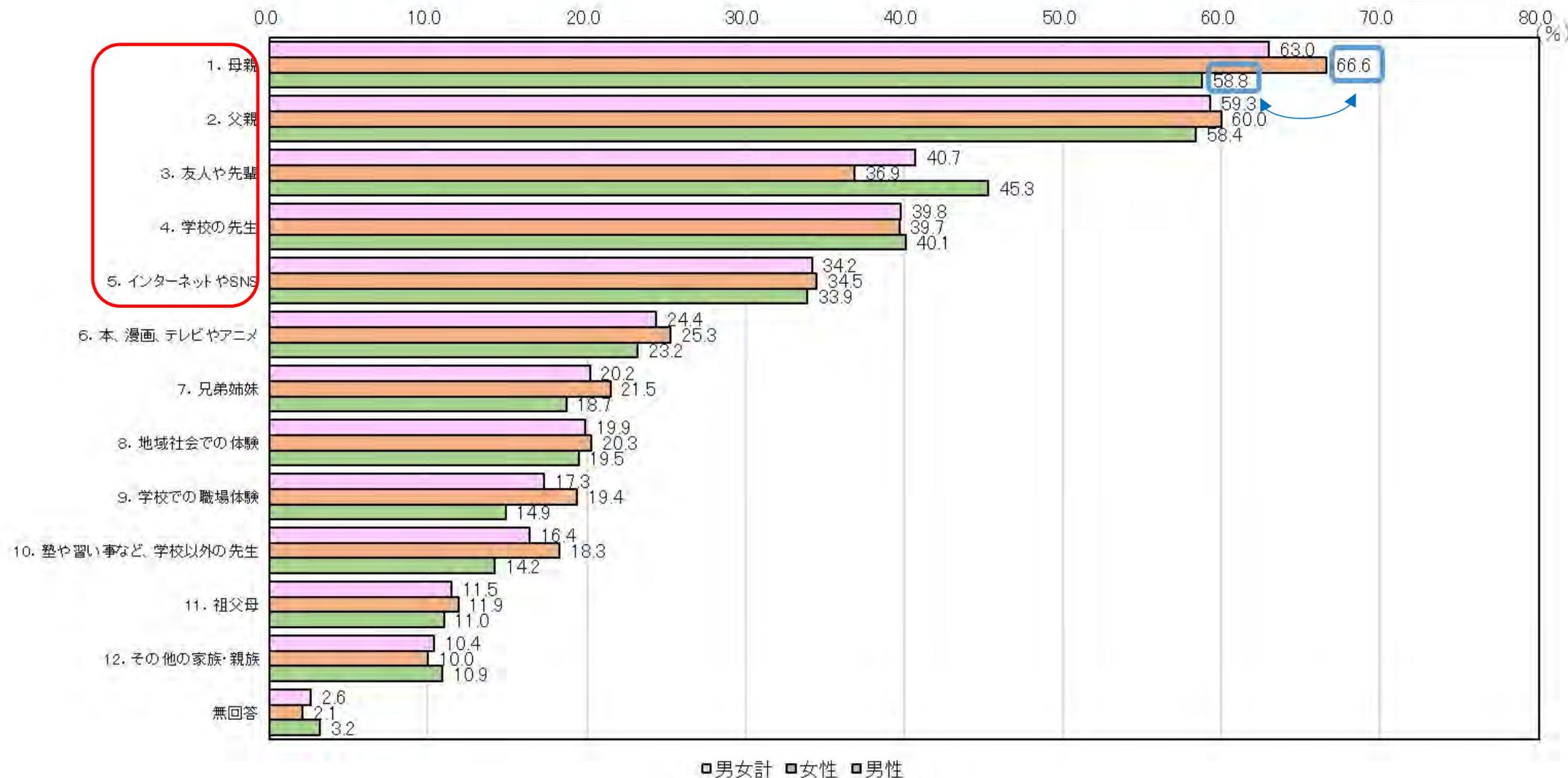
概要

- 目的：男女共同参画社会に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする
- 調査実施主体：内閣府政府広報室（設問作成は男女共同参画局）
- 調査時期：令和6年9月26日～11月3日
- 調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
- 有効回答数：2,673人（回答率 53.5%）
- 調査方法：郵送法（令和元年調査までは個別面接聴取法）
 - ⇒調査方法の変更に伴い、質問文や選択肢が同じでも、令和元年以前の調査結果との比較はできない（令和元年以前の調査結果は「参考値」の扱い）
- 平成4年以降、数年おきに同様の調査を実施（前回調査は令和4年）
- 公表について
 - ✓テレビ・ネット記事：2月4日（火）17時以降
 - ✓新聞：2月5日（水）付朝刊

進路選択に影響をあたえるもの（問3）

新規問

- ・ 男女ともに回答が多かったのは、「母親」、「父親」次いで、「友人や先輩」、「学校の先生」、「インターネットやSNS」となっている。
- ・ 女性の方が、進路選択に影響をあたえるものとして「母親」を選択する割合が高い。



(備考) 1. 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和6年9月調査)より作成。
 2. 質問文は「文部科学省の「令和5年度学校基本統計」によると、例えば、大学の理学部・工学部に進学する女性は男性より少ない、薬学部・看護学部に進学する男性は女性より少ないという現状であることが分かっています。進路選択の一例としてこのような状況がありますが、あなたは、一般的に進路選択に影響を与えるのは次のうちどれだと思いますか。」複数回答。

理工チャレンジ（リコチャレ！）～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。



取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和7年度実績 129団体235イベント実施
約8,300名が参加

若手理工系人材 （ロールモデル） による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

STEM Girls Ambassadors による理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

募集

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 968団体
(令和8年1月19日現在)

理工系女子 応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 232団体
(令和8年1月19日現在)

理工系女子応援 ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・リコチャレとは？
- ・イベント情報
- ・先輩からのメッセージ
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ
- ・シンポジウム
- ・調査研究等



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性（ロールモデル）提示等



ウェブサイト 理工チャレンジ「先輩からのメッセージ」

【掲載内容】

- ・理学部・工学部・農学部等の理系の学部を卒業し、様々な分野で活躍している先輩から、理系・文系の選択をはじめ進路選択に悩む女子中高生、女子学生の皆さんへのメッセージを掲載。
- ・「先輩に質問！」のマークがある先輩には直接進路の相談をすることも可能。

団体別で探す

- ▶ [大学・短期大学](#)
- ▶ [高等専門学校](#)
- ▶ [専門学校](#)
- ▶ [企業](#)
- ▶ [学術・研究機関等](#)
- ▶ [行政機関](#)
- ▶ [その他の団体](#)

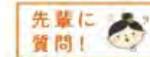
分野別で探す

- ▶ [理学系](#)
- ▶ [工学系](#)
- ▶ [農学系](#)
- ▶ [商船系](#)
- ▶ [保健系](#)
- ▶ [家政系](#)
- ▶ [その他の分野](#)



前田 佑奈さん

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
戦略プランナー・データアナリスト



広告会社ADKで戦略プランナー・データアナリストとして、お客様の事業課題を解決する業務に携わっています。学生時代は理学部で数学を専攻し、偏微分方程式の研究に従事していました。修士1年の頃、就職・博士進学のどちらにするか悩んだ末、就職活動することになりました。「情報を用いて多くの人の悩みを解決する会社で働きたい」と就活をした結果、大手インターネット企業に新卒入社し、エンジニア・データサイエンスの業務に携わりました。技術職からキャリアをスタートしましたが、仕事を覚えていくうちにビジネスに対する興味が強く身覚え、また学生時代の数学を通して「なぜ？」と理屈を立てて考える事が好きだったこともあり、その後はコンサルティングファームでコンサルタントとして経営課題にまつわる業務に携わり、そして現在に至ります。皆さんがお店やテレビCMで見かける商品、もしかしたら業務で私も関わっているかも…？！

理学系分野を選択した時期・理由

実は、中学校で数学がとても嫌いでした。特に、合同証明や図形が嫌い…。先生が解説で補助線を引いた時など「なぜそんなものを思いつく？天から閃きでも降りたの？」と斜に構えて見ていました。高校入学後の文理選択で「理系では数学ⅢCまで履修」と聞き、絶対に嫌だと思って文系を選択したくらいです。しかし、高校で数学を勉強するうちに、数学が好きなきらいになっていました。仮に、問題が解けなかった際は「なぜ自分の考え方はだめだったの？」。解けた際は「解答はなぜこのやり方をわざわざ選んだの？」と「なぜ？」が尽きず、熱中していたからだと思います。気がつけば理転をし、進路選択の際は理学部で学んでる姿がしっくりきており、理学部数学科へ進むことにしました。大学数学は、中高までの計算主体・問題を解く数学とは異なり、定義や証明を繰り返してひたすら「なぜ？」と考える世界で、振り返ると性に合っていたと思います。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

現在の業務は、お客様の事業課題を解決する業務で、抽象的なお題であることが多いです。例えば「こんな商品を作りたいが、どうやっていいか…」「ある時に売上が急降下して原因もわからず…」みたいなものです。決まった正解・公式・やり方も無く、どうしていいか悩む中で常に学びながら走る仕事で、とにかく自分の頭で考えて合理的な道筋を作っていかなければいけません。そこで、数学という学問を通して染み付いた「『なぜ？』と考える力・論理を作り上げていく力」は、どの仕事・どの状況においても私を支えてくれる大切な宝物となっています。試行錯誤の末に出した結果をお客様に報告した際に「面白い話が聞けた。その結果も合わせてこの後の事を議論したい。」と聞いて頂いた時はとても嬉しいですし、業務で関わった商品が後に店頭でお客様の手に取って頂いた所を見たりすると、考え込んでいた時の面白さを忘れてしまうくらいです。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

皆さんは、これからどんな事に打ち込みたいですか？私は、ビジネス職から技術職まで経験し、学生時代に数学に打ち込んで良かったなぁと痛感しています。「社会に出ても積分なんて使わない（故にそこまで要らない）」と思われがちですが、自身の経験から、理系学問（特に数学）は論理を鍛える土台にしやすくと考えています。エンジニアの仕事にしても異常系処理に強かったり、お客様の悩みを筋道立てて解決する仕事をしていたり、全て数学を通して染み込んだ論理の恩恵を受けているといっても過言ではありません。社会に出ると、誰かが用意した教科書・正解・解法もなく、自ら「問いを立て・解決案を出し・実行する」必要があります。「理系卒はあの仕事」「男性だから・女性だから」のような規定は無く、興味ある分野へのチャレンジが可能です。逆に言うと、「この仕事に就けば安定」のようなものもなく、自分で道を切り開く必要があります。何か打ち込んだ経験に裏打ちされた強みが将来の自分を助けてくれるため、まず何かに打ち込んでみてください。そして自己成長をした後、皆さんの夢・希望を思う存分叶えていってください。

夏のリコチャレ2025 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



「マンションのことなら長・谷・工♪～マンションミュージアム見学&マンションにまつわる実験体験ツアー」
(株式会社長谷工コーポレーション)

夏のリコチャレ2025

開催実績

129団体235イベント

8,300名以上が参加

(2024年開催実績)

119団体 228イベント

6,900名以上が参加



「女子高校生のためのデータサイエンス職場見学ツアー」
(さいたま市、株式会社ARISE analytics)



浜松ホトニクス 夏のリコチャレ2025
「光の性質に触れ、理系女性の働き方を覗いてみよう！」
(浜松ホトニクス株式会社)

理工系女子応援ネットワーク会議

【事業概要】

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体を主な対象として開催。取組に関心のあるリコチャレ応援団体と、自治体も参加
- ・令和7年度は10月22日にオンラインで開催 81団体・103名が出席。
- ・事例紹介、情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化を行う



【令和7年度開催内容】

1. 理工系女性人材の育成に係る取組説明、夏のリコチャレ2025報告（内閣府・文部科学省）

2. 取組事例発表

○ < 実地開催の事例 > 株式会社 長谷工コーポレーション

- ・リコチャレの取組概要とプログラムにおける工夫点について
- ・SNS等を活用した広報事例について 等

○ < 自治体と企業共催開催の事例 > さいたま市・株式会社 ARISE analytics

- ・さいたま市の民間提案制度を利用した共催の経緯について
- ・リコチャレの取組概要と課題点等について 等

○ < オンライン開催の事例 > 浜松ホトニクス 株式会社

- ・これまでのリコチャレ開催実績について（5年連続で開催）
- ・社内部署横断のプロジェクトチームでの実施について 等

3. グループディスカッション

- ・イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点の情報共有
- ・イベント実施に関する疑問点の質問確認、意見交換 等

2. 78年度当社リコチャレ実施概要

事前広報

- 公式LINE配信：女性、40～59歳、一部三県居住者を対象 20万通を配信
- 会社HPへのバナー掲載
- 近隣中学校・高校にチラシの送付

→24/28件がLINEきっかけの申込み

データサイエンティストお仕事体験
～SNSのデータを分析してみよう！～

内容3: 理系女性社員との懇談会 15分×3=45分程度



進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和7年7月7日公開

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー



基調講演

田中 純子

広島大学 理事・副学長 特任教授

プロフィール
お茶の水女子大学理学部卒、医学博士（広島大学）。専門は疫学、特にウイルス肝炎の疫学。2009年広島大学大学院教授等を経て現職。ウイルス肝炎の疫学研究を国内外で実施し、医療施策へ貢献。中国文化賞（中国新聞社）、ロイヤル・モニサラポン勲章（カンボジア王国）、Elimination Champions 2023（Task Force for Global Health, CGHE）等受賞

理系で広がる
私の未来
2025



講演

村上 慧

関西学院大学 理学部化学科 准教授

プロフィール
2012年京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程修了
博士（工学）の学位を授与
2012年 日本学術振興会 特別研究員（PD）
2013年 京都大学白眉センター 特定助教
2014年 名古屋大学物質科学国際研究センター 助教
2016年 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授
2020年より現職

理系で広がる
私の未来
2025



理系で活躍する先輩による経験談発表

竹下 未来

パナソニック ホールディングス株式会社
MI本部 先進メカトロニクスシステム開発センター
先進メカトロニクス開発一部 制御開発課 シニアエンジニア
プロフィール

福岡県出身。高専卒業後、九州工業大学情報工学部へ編入し、2021年に同大学院で博士前期課程を修了。学生時代は身体の状態を測定するセンサを3Dプリンターでつくる研究に取り組む。大学院修了後は、「ものをつくるための機械」を設計する仕事がしたい、という思いからパナソニック ホールディングス株式会社に入社。現在は、次世代半導体や再生医療向けの装置開発を担当。

理系で広がる
私の未来
2025



永塚 尚子

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター 副主任研究員
プロフィール

雪氷学・地球化学の研究者。千葉大学理学部地球科学科で初めて氷河に出会い、その魅力に惹かれて、同大学院理学研究科（現・融合理工学府）の修士課程および博士課程への進学を決意。2013年に学位を取得後、国立極地研究所の研究員を経て、2024年より海洋研究開発機構の副主任研究員。これまで、アラスカやグリーンランドをはじめとする世界各地の氷河で調査を行い、マイクロサイズの鉱物から、地球規模の気候・環境変動を解明することに取り組んでいる。

理系で広がる
私の未来
2025



北村 由羽

日東電工株式会社 全社技術部門 研究開発本部
分離技術研究センター 研究員
プロフィール

2018年3月 関西学院大学 理工学部 化学科 卒業
2020年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 修士課程 卒業
2023年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 博士課程 卒業
2023年4月 日東電工株式会社 新卒入社
茨木事業所のR&D部門に配属
現在入社3年目で、環境貢献テーマに従事

理系で広がる
私の未来
2025



山下

合志技研工業株式会社
合志製造部 機種計画課 試作係
プロフィール

合志技研は、バイクの排気系部品（マフラーやエキパイ）と、フレームをメインに製作している会社です。私はモノづくりが好きで、かつ、バイクも好きなのでこの会社に入社することを決めました。入社して2年間は、開発段階（発売前）の排気系部品を溶接して試作する業務に携わり、現在は、試作した製品を測定し検査を行う業務に携わっています。学生時代に得た、図面を読む、描く力、工作機械の技術、溶接の経験をフル活用して仕事をしています。

理系で広がる
私の未来
2025



STEM Girls Ambassadors派遣

【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動



Ambassador一覧（令和8年1月19日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン 房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、STEAM 教育者、株式会社steAm代表取締役、一般社団法人steAm BAND代表理事、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、東京大学大学院数理科学研究科特任研究員
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

令和7(2025)年度イベント数（予定含む）	
令和7(2025)年度イベント予定数	12イベント
令和6(2024)年度イベント数	
令和6(2024)年度イベント数	16イベント

令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

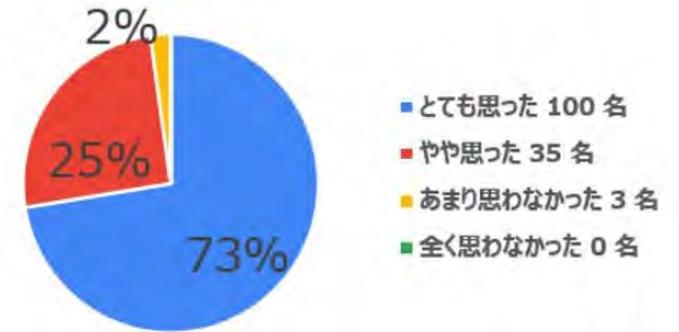
- ・実施地域：5地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
京都府京丹後市	令和7年11月08日
福岡県宇美町	令和7年11月16日
埼玉県上里町	令和7年12月20日
香川県多度津町	令和8年1月18日
岡山県笠岡市	令和8年1月24日

- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験
（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

●令和7年度開催実績（総括）

- ・延べ参加者数：240名
（うち、児童・生徒：145名、保護者・教員等：95名）
- ・イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：98%



【授業の様子】



令和5年度調査研究 理工系分野進学後の女性のキャリアパスに関する事例についての調査研究

【事業概要】

- ・理工系分野出身の女性を取り巻く状況について、調査・研究を行い、理工系分野への進学を支援する資料・情報を掲載した報告書の作成、及び、理工系分野出身の社会人女性に対してヒアリング調査を行い、彼女たちの経験や考えを広く紹介する広報冊子を作成しました。
- ・性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）やキャリアと家庭の両立の大変さなど、さまざまな要因が女性の進路選択を制限しています。こうした課題を乗り越えるために、保護者の方々および教職員の方々にはぜひとも本調査研究報告書や啓発資料を活用いただき、未来ある女子中学生・女子高校生等に新たな可能性を示していただければ幸いです。

報告書



図2 OECD諸国における理工系分野への大学等入学者に占める女性割合（2021）



図1a PISAにおける15歳時点の先進11か国グループ（G10）

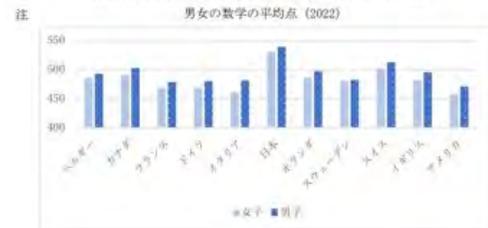
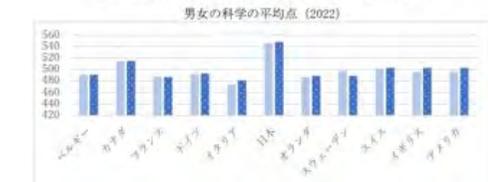


図1b PISAにおける15歳時点の先進11か国グループ（G10）



報告書は、
二次元コードよりご確認いただけます。

広報冊子



広報冊子は、
二次元コードよりご確認いただけます。



理工系分野で活躍する女性からのメッセージ

～ロールモデル集～

【掲載内容】

- ・リコチャレの取り組みの一環として、理工系分野で活躍している女性からのメッセージを紹介し、理工系分野の魅力を知ってもらうことを目的として作成。20名のロールモデルのインタビューを掲載。
- ・「女子は理数系科目が苦手」などといった無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）などの壁を乗り越えるための情報を掲載。



INTERVIEW No.1



五十嵐 有佳さん

- ・20代後半/理学系/酒造開発
- ・山形大学理工学研究科卒業
- ・山形大学大学院理工学研究科修了
- ・化学に関わりながらものづくりがしたいと思い、米沢市の酒造メーカーである小嶋総本店に勤務。商品開発やブランド戦略、ストア管理なども行う

“実は、数学が苦手でした”

INTERVIEW No.20



飯野 由佳さん

- ・30代/工学系/建設会社一般事務
- ・産業能率大学 情報マネジメント学部 現代マネジメント学科 通信教育課程 人材・組織マネジメントコース卒業
- ・技術職（電気技師）を経て、建設会社の一般事務に従事している

“自身の好奇心と、やりたいと思う心を大切に！”

令和6年度調査研究 理工チャレンジプログラム（モデル）

【事業概要】

- ・今後、女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進させていくためには、これまでの取組に加え、各地域における「理工チャレンジプログラム」の実施数を増加させていくことが重要であると考えています。
- ・そこで、各地域の大学・高専向けに、理工チャレンジプログラムの具体的な実施内容や実施手順の事例を示した「理工チャレンジプログラム（モデル）」を作成しました。
- ・各大学・高専におかれましては、本資料を参考に、ぜひ、理工チャレンジプログラムの実施に取り組んでいただくようお願いいたします。




👉【本編】は、
こちらからご確認いただけます。

【パンフレット】は、
こちらからご確認いただけます。👉

